

事務事業名		芸術文化鑑賞事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																																						
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																																						
	施策名	14 生涯学習の推進				会計	款	項	目	事業																																		
	基本事業名	03 学習活動の促進				01	10	05	03	04																																		
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分																																						
所属		教育委員会事務局生涯学習課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度～)					A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																			
部課名		江刺雄輝		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		※全体計画欄の総投入量を記入																																						
課長名		芸術文化係		年度～ 年度					A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																			
係名		電話 0192-27-3111				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																						
担当者		柳本綾子		内線 272					A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																			
						A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																								
<p>・市民に芸術・文化の鑑賞機会を提供する事業。主な事業内容は、次のとおりである。</p> <p>①児童生徒芸術文化鑑賞事業の開催(年に1回、小学生・中学生交互に、市民文化会館で狂言、児童劇などの鑑賞を行う。市芸術文化協会へ補助事業で実施)、②岩手県青少年劇場の開催(日本青少年文化センター、岩手県教育委員会、大船渡市教育委員会での共催事業、市内小中学校年数校で、小中学生を対象に児童劇などを鑑賞する。日本青少年文化センターへの負担金で実施)、③岩手芸術祭巡回小・中学校美術展の開催(入賞入選作品を11月～3月に県内の地区割でパネル展示する)。</p> <p>・事業費は、市芸術文化協会への開催費補助、青少年劇場開催費負担金等に支出される。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="2">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td rowspan="2">事業内訳</td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		人件費	事業内訳	地方債		その他				一般財源				事業費計(A)	0			正規職員従事人数				延べ業務時間				人件費計(B)	0			トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																																										
		都道府県支出金																																										
人件費	事業内訳	地方債																																										
		その他																																										
		一般財源																																										
		事業費計(A)	0																																									
		正規職員従事人数																																										
		延べ業務時間																																										
		人件費計(B)	0																																									
		トータルコスト(A)+(B)	0																																									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
児童生徒芸術文化鑑賞事業(中学生)、岩手県青少年劇場、岩手県芸術祭巡回小・中学校美術展の開催		ア	鑑賞事業開催数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
児童生徒芸術文化鑑賞事業(小学生)、支援によるミュージカル鑑賞事業(小学校5・6年生)、岩手県青少年劇場、岩手県芸術祭巡回小・中学校美術展の開催		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内児童生徒		名称	
		単位	
		カ	市内児童生徒数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
優れた芸術文化に触れる。		名称	
		単位	
		サ	鑑賞者数
		シ	芸術文化に触れる機会がある市民の割合(市民意識調査)
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
児童生徒の豊かな感性を育成する。市の芸術文化の振興に資する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	695	1,200	446	725	408	729
		一般財源	千円	1,949	2,490	1,754	2,475	1,792	2,471
	事業費計(A)		千円	2,644	3,690	2,200	3,200	2,200	3,200
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	360	360	360	360	360	360
		人件費計(B)	千円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,084	5,130	3,640	4,640	3,640
⑤ 活動指標		ア	回	5	5	1	2	1	2
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	人	3575	2,484	2416	2352	2305	2228
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	人	1301	2,788	893	2,016	816	1,958
		シ	%	30.6	29.6	40.0	40.0	40.0	40.0
		ス							

事務事業ID	854	事務事業名	芸術文化鑑賞事業
--------	-----	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	優れた舞台芸術等鑑賞の機会を提供し、児童生徒の豊かな感性を育成するため。開始年度は不明。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	市民文化会館の自主事業が実施されるようになったことから、当事業では対象を児童生徒のみとした。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	鑑賞した生徒から、新たに興味を持った、自分たちの活動に取り入れたい等の感想が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 児童生徒の豊かな感性を育成することは、豊かな心を育む人づくりの推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 当市は、芸術文化活動の中心地域である大都市圏から遠隔地にあり、市民の日常生活の中で舞台芸術等の鑑賞する機会が限られていることから、市がその機会の提供を図る必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象や意図を拡大、縮小する余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ニーズにあった実施演目の導入等により、成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 生の舞台芸術を鑑賞し豊かな感性を育成できる貴重な機会であることから、事業を廃止した場合は、芸術文化の振興影響が出る。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、事業実施に係る公演料、児童生徒のバス委託等最低限必要なものである。東日本大震災に伴う復興支援のもとに開催される芸術文化事業の開催を受け入れを行って、事業費の削減に努めており、これ以上の削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 市芸術文化協会事務局移管により同協会への業務委託が困難となり、開催当日以外は1名の職員が担当している。また、事務局移管により非常勤職員が削減されており、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者(児童生徒)負担金を徴収している。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	一般向けの鑑賞事業については、リアスホールの自主事業が実施されていることから、今後においても実施不要であると考えられる。 文化庁や県芸術文化協会が実施している事業の活用により廃止できる事業については、その事業の廃止を検討する。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
県青少年劇場(日本青少年文化センター、岩手県教育委員会、大船渡市教育委員会での共催事業、市内小中学校年数校で、小中学生を対象に児童劇などを鑑賞する。日本青少年文化センターへの負担金で実施)については、文化庁、県芸術文化協会が実施している事業を代替として活用が可能なことから、事業を実施せず、市内小中学校に対し代替となる事業の周知に努める必要がある。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	芸術文化係が児童生徒の鑑賞事業のみを実施する必然性がないと推察されることから、市長部局が実施する事業との統合について検討すべきである。